

地域ベースのまちづくり活動

①原田には宝が眠っている ～原田町梶山田矢原小組町内会～

原田町は、南北朝時代の石塔や山城跡等が残る歴史的に貴重な地域ですが、その多くは雑木や雑草に埋もれているために、存在を知る人がほとんどいませんでした。「大切な歴史資源を守り、後世に伝えたい！」そんな思いが繋がって、地域の宝を知る勉強会や、遺跡周辺の整備活動が始まりました。

きっかけは？

原田町を調査に訪れた歴史研究家と住民がお寺で出会ったのが最初のきっかけです。

「寺の石塔は貴重なものだが一部紛失している」と聞き、住民数人が紛失した部分を探し、正しく積みなおしました。さらに歴史研究家から「この地域には誇るべき宝がたくさんあるのではないか」という話を聞き、「原田の宝を眠らせていてはもったいない！」と、住民がふるさとを大切に思うやさしさがつながったことが活動のきっかけとなりました。

どんなことをしていますか？

主に、遺跡周辺の草刈りと、研究家や住民が講師となって、地域の言い伝えや歴史を住民全員が学ぶ勉強会を開催しています。

また、みんなで学んだ歴史を紙芝居にして、小学校や高齢者福祉施設で披露しています。

よかったことは？

原田には、すばらしい宝があると知ったこと！今は、ふるさとの宝を次の世代に残そうと、みんなで荒地や雑木を整備しています。人口が減り、高齢者が多い地域ですので、目的がないままに草刈りをしていたら、続かないかもしれません。

また、小学校での紙芝居は児童の手により劇に形を変え、学習発表会で披露され、多くの方に原田の歴史を知っていただくことができました。

これから・・・

歴史資源の周辺整備に加え、健康づくりや地域を学べる散策コースをつくり、原田の人も、他の地域から来た人も楽しめる交流の場をつくるつもりです。また、文化、遺跡、民話等の伝承に取り組み、地域を誇りに思えるコミュニティづくりを目指します。

活動を続けることで、都会で生活する子どもたちが定年後に帰ってきたいと思えるふるさとづくりをしていきたいと思っています。



遺跡周辺の草刈り



原田小学校での紙芝居